

第 25 回大会のオンライン開催について(開催予告)

日本ミュージアム・マネージメント学会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催延期をしております第 25 回大会を、オンラインにて開催することといたしました。

下記要領にて開催致しますので、是非ご参加下さいますようお願い致します。

■日程:2020 年 10 月 31 日(土)、11 月 1 日(日)の2日間

■主にウェブ会議システム Zoom を利用して開催

■テーマ:人々とミュージアム-社会に発信するミュージアム

■開催趣旨

本学会は、2018 年度～2020 年度において、外国人、障がい者、高齢者など、ミュージアムの利用に当たり配慮が必要な人々に注目し、「人々とミュージアム」をテーマに、ミュージアムを取り巻く人々とミュージアムとの関係性に関する研究活動と情報発信を展開している。2020 年度の第 25 回大会は「社会に発信するミュージアム」をサブテーマに議論を深めることとしている。

2020 年は、感染症の拡大とその予防のために閉館を強いられたミュージアムもあり、「新しい生活様式」を踏まえたミュージアムの機能や社会的役割の再考が求められている。これは、本来の質の高い文化活動へのギアチェンジのチャンスかもしれない。

閉館の間、オンラインで、収蔵品、ワークショップや学芸員の仕事ぶりなどを情報発信しているミュージアムもあり、展示だけでは知ることができないミュージアムの機能を見ることができ、人々の多面的な理解が深まったのではないだろうか。今後リスクを考えると ITC による情報発信、入場制限、安全で快適な鑑賞環境、非接触型のハンズオン活動・ワークショップや、集客戦略の見直し、経営体質の改善など、ミュージアムマネージメントにおいて大きな課題がある。

これらは「不確実性とリスクのある中でのミュージアムマネージメント」の模索である。2020 年は人々とミュージアムが「新しい生活様式」あるいは「New Normal」の試行の中で、「人々とともに創るミュージアムマネージメント」の機会とも考えられる。そこで本年度の大会は「社会に発信するミュージアム」をテーマに、オンラインで開催し、遠方や未会員の方にも参加していただき、これまでの学会と会員の成果を広く社会に発信する。

■プログラム(予定)*今後内容の検討によって時間が前後しますのでご了承ください。

10 月 31 日(土) 13:30 頃-17:00 頃

- (1)開会式・大堀哲賞授賞式【Zoom】
- (2)法人会員表彰【Zoom】
- (3)コロナ禍におけるミュージアム・マネージメントのあり方に関する緊急シンポジウム(基調報告、分科会)

11 月 1 日(日)9:00 頃-15:00 頃

- (4)会員研究発表【Zoom】
- (5)ポスターセッション【Zoom】

■参加方法(予定)

参加お申込みいただいた方へのご案内

- (1) 会員研究発表・ポスターセッションの要旨をご覧いただける ID と PW を発行します。
- (2) 基調報告や分科会等、各プログラムにご参加いただける Zoom のミーティング ID と PW をお知らせします。
※ID、PWを第三者に知らせることは禁止します。
※Zoom 等の操作方法につきましては、各参加者でご確認ください。オンライン参加にあたっては、Zoom のアカウント登録をお持ちでない方も、ゲストユーザーとして参加可能です。
- (3) 参加申し込みは 9 月頃より受付いたします。なお、本オンライン大会は試行的に開催するため、今年度は参加費無料となります。

■その他

- (1) 後日配布する「日本ミュージアム・マネージメント学会オンライン発表におけるガイドライン」ならびに「参加いただく際の注意事項」を確認・了承いただいた上でのご参加をお願い致します。
- (2) 諸事情や今後の準備状況により、プログラムや実施方法等に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- (3) Zoom を用いてのオンライン開催にあたり、不具合等が生じても十分なサポートができない可能性がありますこと、あらかじめご容赦ください。
- (4) 本オンライン大会への参加に要する通信環境の整備、通信料は、参加者各自でご負担ください。
- (5) 9 月上旬頃、大会についての詳細を再度会員の皆様にご連絡致します。

日本ミュージアム・マネージメント学会 大会実行委員会
〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 (株) 乃村工藝社内
電話・ファックス 03-3570-2498 メール: kanri@jmma-net.org